

2023 年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名:第1群 英語)

2023 年 2 月 20 日(月)

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

- \* 答えは全て解答用紙に記入すること。(I. と II. は日本語で、III. は英語で解答すること)
- \* の語には注釈があります。

I. 次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(John R. Taylor, *The Mental Corpus—How Language is Represented in the Mind*, 2012, pp. 2-3 一部文言を修正)

\*analogous 類似した

問 1. 英語例文(1a)(1b)を日本語に訳しなさい。

問 2. 下線部①を日本語に訳しなさい。

問 3. 下線部②で本文が意図する mental corpus とはどのようなものか。50 字から 100 字までの日本語で述べなさい。

II. 次の英文を読んで、100 字以内の日本語で要約しなさい。(句読点も 1 文字とします)

【引用部分は削除しています】

(Michiko Iwanaga, Atsuko Umemura, Sumiko Yoshida, Minori Yoshioka, *Read and Think: 12 Inspiring Messages*, Asahi Shuppan, 2006, pp.51-52. 一部文言を修正)

\*unmanned 無人の \*reconnaissance 偵察 \*poised 転用された \*chauvinisms 狂信的愛国主義

III. What is the most serious problem facing the world today, and why do you think so? Write your answer in English, using around 150 words.

|    |
|----|
| 得点 |
|    |

2023 年度 大学院（博士後期課程）解答用紙

(科目名:第 1 群 英語)

(文学研究科 全専攻共通)  
2023 年 2 月 20 日(月)

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

I. 問 1. (1a) \_\_\_\_\_  
(1b) \_\_\_\_\_

問 2. \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

問 3. \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

II. \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

III. \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

|    |
|----|
| 得点 |
|    |

2023 年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 教育学・臨床心理学専攻以外)

(科目名:第2群 ①ドイツ語)

2023 年 2 月 20 日(月)

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

1) 以下のドイツ語の文章を日本語に訳すこと。(罫線横書き解答用紙を使用すること)

【引用部分は削除しています】

(Karl Jaspers: *Schelling - Größe und Verhängnis* 1955 より抜粋)

2) 以下の文章を読み、a)下線部を日本語に訳し、b)文章全体の内容を150～200字程度で適切にまとめること。(訳は罫線横書き解答用紙を使用し、内容のまとめはマス目横書き解答用紙を使用すること)

Man kann Philosophie als ein Unternehmen verstehen, das ursprünglich und vor allem als eine Intervention in menschliche Verhältnisse gedacht war, nicht als eine religiöse oder politische, erst recht nicht eine militärische, sondern als eine Intervention sui generis. Sokrates' Befragungen der Überzeugungen seiner Mitmenschen war eine Intervention im Athen seiner Zeit. Und seine Aktivitäten waren nicht gelegentliche „reach outs“ eines Akademikers, der Sokrates ja nicht war, sondern seine „eigentliche Tätigkeit“. „Dass das menschliche Leben nicht durch Konventionen, religiöse Dogmen oder politische Vorschriften bestimmt sein muss, sondern – so kann man die Absicht der Sokratischen Tätigkeit zusammenfassen – vor allem durch ein gemeinschaftliches Nachdenken, ist selbst als eine Initialzündung aufgeklärter Philosophie deutbar, einer Philosophie, der auch eine ihr entsprechende „Lebensform“ vorschwebte: die einer Gemeinschaft von frei sich miteinander Verständigenden über das, was man sich im Leben vornehmen solle, wenn es mit der Selbsterhaltung einmal halbwegs geklappt hat, einer Gemeinschaft von nachdenkenden Freundinnen und Freunden (im Sinne von Hannah Arendt), die sich nicht durch eine Kaste von Priestern oder politischen „Führern“ sagen lassen will, was zu tun sei. Man kann das im Anschluss an John Dewey eine aufgeklärte, demokratische Lebensform nennen, wobei Demokratie für Dewey nicht lediglich eine Regierungsform war, sondern eine gemeinschaftliche Art und Weise, Lebensziele hervorzubringen. (Und sofern die, die in einer solchen Form leben, sich selbst auch noch Gesetze geben und dazu verpflichtet, sie auf alle gleich anzuwenden, ist es auch eine republikanische.)

※ sui generis: 独自の、独特の。reach outs: 接触する、手をさしのべる。

二〇三年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 真宗学専攻)

(科目名第2群 ② 仏教漢文(真宗学))

2023年2月20日(月)

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

※罫線縦書きの解答用紙に問題番号を記して解答を記入してください。

一、次の(一)～(三)の漢文を書き下し、現代語に訳しなさい。

|     |                |
|-----|----------------|
| (一) | 【引用部分は削除しています】 |
| (二) |                |
| (三) |                |

二、次の漢文を読み、以下の設問(一・二)に答えなさい。

|                |
|----------------|
| 【引用部分は削除しています】 |
|----------------|

設問(一) 当面の意に沿って、全文を書き下しなさい。

設問(二) 傍線部について漢文における解釈を述べなさい。

|    |
|----|
| 得点 |
|    |

二〇三年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

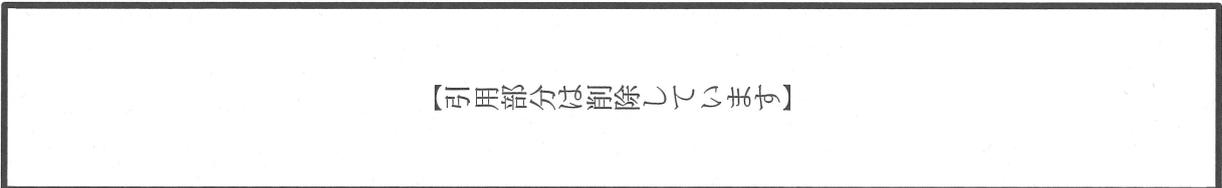
(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名:第2群 ④古典漢文(日本語日本文学))

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

2023年2月20日(月)

◎ 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



(『十八史略』による)

(注) ○十七年 後漢・明帝の永平十七年。西暦七四年。 ○西域都護・戊己校尉 ともに官名。 ○耿秉 人名。明帝に重用された人物で、匈奴との戦いで軍功を立てた。 ○匈奴 モンゴル地方を拠点とした遊牧民。 ○武帝 前漢の第七代皇帝。 ○西域 漢代以後は玉門関(現在の甘粛省敦煌市の西北)以西の総称。 ○上徙之 上は皇帝に対する尊称で、ここでは明帝のこと。 ○豐固 人名。後漢初期の將軍。 ○都尉 官名。 ○涼州 地名。 ○仮司馬 官名。 ○班超 後漢初期の將軍で、西域を平定した人物。 ○鄯善 国名。楼蘭ともいう。西域諸国の内の一つ。 ○疎懈 粗雑にすること。 ○廣營 匈奴の陣營。「虜」は匈奴に対する蔑称。 ○三十余級 級は首のこと。 ○于真 国名。

問一 傍線部①「亘如武帝通西域、断匈奴右臂」の書き下し文を記しなさい。

問二 傍線部②「固使仮司馬班超使西域」の書き下し文を記しなさい。

問三 傍線部③「不入虎穴、不得虎子」の書き下し文を記しなさい。

問四 傍線部④「奔虜營斬其使及従士三十余級」とありますが、班超がそのようなことをした理由を簡潔に説明しなさい。

問五 この文章を大まかに口語訳しなさい。

|    |
|----|
| 得点 |
|----|

# 2023 年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 臨床心理学専攻)

(科目名:専門科目)

2023 年 2 月 20 日(月)

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

以下のすべての問題に解答しなさい。ただし、設問ごとに別の解答用紙に解答しなさい。

## 設問 I

あなたは中学校に勤務するスクールカウンセラーです。担任からの紹介で、不登校気味である中学 2 年の女子生徒 A と面接することになりました。その生徒 A は、リストカットもあり、先日母親がそのことに気づいたということでした。また、たまに保健室に来て養護教諭に友人関係や家族との関係のしんどさを訴えて、突然涙を流し気分が不安定になるということでした。

このような生徒に対して、あなたはどのような点に配慮し、どのような点を明らかにして見立てを行っていきますか。あなたなりに考えられる A の心情と面接方針について述べなさい。

## 設問 II

科学的な前提での論文作成において、基本的な構成は「目的、方法、結果、考察」である。これを「新規症例の発見」や「事例展開の新奇性」などを論じるための「事例」を軸とした論文の構成は、基本的な論文構成とどのように異なるのか。具体的な項目を示しながら、項目間の関連がわかるように簡潔に説明しなさい。

|    |
|----|
| 得点 |
|    |